ninoyu satoshi

発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人:二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字:栢木寛照

えとす

平成27年 No.282 12月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

自民、公明で軽減税率が決着
課題は新しい財源の確保

難しい外食、持ち帰りの判断

年末の政治課題は、翌年度の政府予算の編成である。多くの陳情団が霞が関、永田町に押し寄せ、与党議員はその対応に追われ、まさに寧日がない状態が続くのが例年行事であった。財政状態が厳しい最近は、以前ほどのことはないが、それでも予算関連の会合、陳情は多い。予算編成の前に、予算の財源となる税の徴収の見積もりを立てなければならない。それが、自民党の税制調査会の大きな仕事である。今年の税制調査会は、平成29年4月から導入が予定されている消費税10%段階での、軽減税率をどの範囲にまで適用するかというのが、大きなテーマであった。当初、自民党、公明党の税制担当者の間で、還付方式を採用する方向で合意できたかの様子であった。これに対して、公明党の支持母体である創価学会側から、買い物段階での消費者の痛税感を和らげるために、軽減税率の範囲を広げるべきとの声が上がり、最後は自民、公明の幹事長間での話し合いで、酒類、外食を除いて、全ての食料品に軽減税率を適用することになった。今後、社会保障費に充てる財源約6千億円の減収分をどうねん出するのか、簡単なことではない。

議論百出の自民党税制調査会
挨拶する額賀税制調査会小委員長

恒心

★消費税を10%に増税する場合、低所得者対策として、軽減税率を酒類、外食を除く食料品に適用し、8%に据え置くと、約1兆円の財源不足となるようである。その不足分をどんな税金で補うのか、今後の大きな政治課題である。★いつも真っ先に、候補に挙げられるのが、タバコの値上げである。財源不足の時のタバコ頼みではないが、いつもタバコが標的にされる。今国産のタバコで一番高いのはザ・ピースの1000円である。★禁煙派の人達は国民の健康維持と財源を確保するために庶民が愛煙するタバコを大幅に値上げしろと主張している。高額になっても、愛煙家はそれでも吸い続けると思うが、かなりの人が断煙するだろう。当然たばこの売り上げは減り、税収も減ることになる。いつまで安定財源になるだろうか。いささか疑問である。★タバコを目の敵にする人がいるが、タバコは年間2兆円の財源を生み出し、国家財政に大きく貢献している。その内の50%は地方税として、都道府県、市町村の貴重な独自財源になっている。しかも、売り上げ比率によって各々の市町村に配分される。タバコを町で買いましょうという立て看板が立っているのもそのためである。★受動喫煙は健康に害を及ぼすとして、多くの自治体では庁舎で喫煙ルームを作ったり、禁煙区域を設定して、喫煙を制限している。喫煙を通じて、税を市町村に納税している愛煙家には割り切れない気分になるようだ。★タバコが健康を害する恐れが強いとしたら、国として喫煙を禁止して、タバコ製造を止めたらいいのではないかと主張する人がいるが、たばこ税に代わる莫大な財源を他に求めることは、不可能である。タバコを巡る問題は悩ましく、深いものがある。

感謝とお願いのご挨拶

今年も残り少なくなってまいりました。この一年間皆様には、私の政治活動に対し、温かいご支援、ご指導を賜わり心より厚く御礼を申し上げます。一昨年の9月より今年の10月8日まで総務副大臣を務め、公務に拘束されていたため、地元活動が十二分に出来ず、誠に申し訳ありませんでした。今年は春に統一地方選挙が行われ、府議会、京都市議会はじめ各地方議会のわが党公認、推薦候補に力強いご支援をいただき有難うございました。お陰様で府議会、京都市議会で第1党の座を堅持し、引き続きわが党が、主導的立場で、京都府政、京都市政を推進することになりました。ご案内の通り、今多くの地方自治体は高齢化、人口減少が進行して、元気がなくなっています。地方の消滅すらささやかれています。こんな状態を見過ごすことは政治の怠慢であると思います。日本の社会の持続性を確保する為にも、東京一極集中を是正し、地方に元気を取り戻すことが必要です。私は国会に出て11年間が経過致しました。総務大臣政務官、総務副大臣の経験を生かし、京都府下の自治体はもとより、全国の自治体の振興に努めてまいりたいと考えております。それが私に課せられた責任であり、全力で取り組んでまいります。さて、新年早々から京都市長選挙が行われます。現職の門川市長が3選出馬を表明されています。京都市の夢のある未来をつくる上において、引き続き門川市長に頑張ってもらわなければなりません。さらに7月には、参議院議員選挙が予定されています。私も自民党本部から公認をいただき、ただ今、府下各地を周り、支援者の皆様との対話を重ねております。何卒温かいご支援をお願い申し上げます。結びに新年が皆様にとりまして、良き年となりますようお祈りし、御礼とお願いのご挨拶とさせていただきます。

平成27年12月25日

参議院議員　二之湯　智

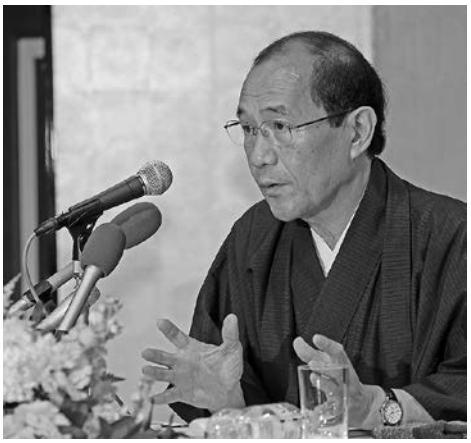
自民党京都府連女性局主催
「りぶるの集い」で挨拶

新年早々から各地で市長選挙

正月気分が抜けきらない新年早々から、京都府、滋賀県の主要都市で市長選挙が行われます。京都では京都市、八幡市、滋賀では大津市。どの選挙も現職に対抗馬が立ち、激しい戦いが予想されます。

来年2月の京都市長選挙
現職門川氏3選出馬表明
三つ巴の激しい戦いか

3選出馬をめぐって、その去就が注目されていた門川大作京都市長は、さる12月12日に記者会見を行い、経済活性化と安定した雇用創出、子育て環境の充実、文化首都京都の実現、府市協調と二重行政の解消の4本柱を基本政策にして、京都の未来の為に引き続き市政を担当したいと強い意欲を示し、立候補することを正式に表明した。市長は各分野にわたる数多くの団体から出馬要請を受けている。政党では12月10日に自民党本部が推薦を決定している。公明党、民主党も推薦する予定である。共産党は早々と本多久美子氏を候補者に決めており、先日には元府会議員三上隆氏が名乗りを上げた。地域政党である京都党からも出馬する可能性が高く、「京都維新の会」が京都党を応援する構えを見せており、市長選を巡る様相は混とんとしてきている。過去の市長選の構図は自民を中心とした保守・中道陣営と、共産党との戦いが多かった。いずれの選挙も厳しい戦いであり、票差は極めて少なく、薄氷を踏む思いがする選挙の連続であった。今回、地域政党が立候補すれば、選挙の行方は全く予断を許さないのではないか。過去8年間の実績がある現職の門川市長と言えども、陣営が相当な危機感を持って臨まないと安心は出来ない。門川氏の支援母体である「未来の京都をつくる会・立石義雄会長」の事務所は、御池油小路東北角に構えることになった。12月26日から自民党の各国会議員事務所から秘書が派遣され、新年早々からの選挙の準備にとりかかる。



抱負を語る門川氏

門川市長の有力な支援団体である京都医療関係団体協議会「門川市長激励会」で挨拶するニノ湯参議院議員

今川市長以来の過去の京都市長選挙の投票結果

選挙年月	当選者名	得票数	次点との票差	投票率%
1981(昭和56)	今川正彦	143,757	11,907	27.11
1985(昭和60)	今川正彦	199,043	59,455	42.52
1989(平成元)	田辺朋之	148,836	321	40.60
1993(平成 5)	田辺朋之	246,452	46,559	41.55
1996(平成 8)	桝本頼兼	222,579	4,092	41.59
2000(平成12)	桝本頼兼	284,225	72,498	45.90
2004(平成16)	桝本頼兼	231,822	56,975	38.58
2008(平成20)	門川大作	158,472	951	37.82
2012(平成24)	門川大作	221,765	31,794	36.77

県都大津市の転換を 前県議蔦田(つただ)恵子氏が出馬表明！

来年1月17日投開票の大津市長選挙に、滋賀県議会議員の蔦田恵子氏(11月末に辞職)が出馬表明をした。大津市では、越市長による副市長の不可解な更迭をはじめ、県庁所在都市にしてはあまりにも活気がなく、市政の混乱と停滞に対し、市民からの批判の声が高まっている。外国人観光客でごった返している京都と比べ、雲泥の差である。停滞市政からの転換を訴える経済人を中心に結成された市民団体「オール大津・河本英典代表」は蔦田氏への推薦を決めており、自民党系の市議会議員・県議会議員の多くが蔦田陣営に参加しているが、現職の壁が厚いのも事実である。二之湯武史参議院議員は選挙対策副本部長を務め、蔦田氏支持の拡大に取り組んでいる。大津市に知り合いのおられる方は、ぜひとも二之湯武史事務所(077-527-4010)までご連絡ください。

蔦田恵子氏の経歴

甲南女子大学卒・平成元年から14年間びわ湖放送にてニュース・キャスター。

平成15年に滋賀県議会議員初当選、以後4期連続当選。

八幡市長選挙 現職堀口氏再度出馬を決意

平成24年2月、明田市長の引退に伴い八幡市長に就任した堀口市長は厳しい財政状況の中、在任中の4年間に人口減少対策、高齢者対策、市民の健康づくり事業、都市基盤整理に堅実に取組み、実績を挙げてきた。ただ、4年間という短い期間の中で、多くの市政の課題を解決することは不可能である。まだまだやり残した仕事が山積している。そのため、堀口市長は自民党、公明党、民主党の推薦を得て、生まれ育ったふるさと八幡の発展の為に、再度市長選に出馬する決意を固めた。今回の市長選挙には堀口氏の他に共産党が候補者擁立を決めており、「京都維新の会」の推薦で前八幡市議会議長の横須賀昭男氏も出馬する予定である。八幡市は大阪の隣接地、しかも大阪へ通勤する住民が多く、「大阪維新の会」の影響を受けやすい。昨年末の衆議院選挙で比例では自民に次いで6486票、今年4月の統一地方選挙では、民主を上回る5243票を獲得した。それだけに決して現職有利と言うわけにいかない選挙である。さる12月13日、堀口文昭市長後援会総会が開かれ、来賓として西田昌司自民党府連会長、二ノ湯智参議院議員、安藤裕衆議院議員、そして公明党関係者も出席し、各氏とも堀口氏の過去4年間の実績を評価し、今後の戦いに向けて力強い激励の言葉を送った。

後援会員拡大のお願い

先月号でもご案内致しましたが、二ノ湯智参議院議員のリーフレットが出来上がりました。今月号の「えとす」と一緒に同封させていただきました。二ノ湯さとし後援会の輪を一層拡大する為に、是非とも皆様方の温かいご協力をお願い申し上げます。

高齢化時代に必要な趣味
眞龍書展へ出品

高齢化時代、生きがいを持って健康に人生を送ることは何よりも重要である。70才で仕事を辞め、平均年齢の85才まで人生は長い。その間何をするのか。毎日家に居てテレビばかり見ている訳にいかない。そんな暮らしをしていると、家人から粗大ゴミ扱いを受けてしまう。一生を全うできる趣味を持てば、より充実した、有意義な人生を送ることが出来るのではないか。だが、高齢になって急に趣味を持つことは出来ない。従って、事前から高齢化時代に備え、自分に適した趣味を探し、準備をしておかなければならない。二ノ湯参議院議員は5年前、知人の立花宏一氏(シンクロの立花美哉さんの父)の勧めで書道を始めた。月に3回、眞龍書道会(高見広流会長)の教室に通っている。一向に上達しないが、いつかは多少ましな字が書けるのではないかと書道に励んでいる。京都では文人連盟の参与に就任し、春秋2回拙い書を出品している。今回奈良市にある奈良県文化会館での眞龍書展に恥を顧みず作品を提出した。「積善之家余慶有」は中国の古典「易経」の中の名言で元京都府知事・林田悠紀夫先生がよく揮毫(きごう)されていた。

高見広流先生と

「日本真生塾」 例会のお知らせ

第64回 1月25日(月) 18時30分～21時

若くして日本的社会主義の理論を構築、急進的変革思想と具体策の提示により昭和の日本政治に大きな衝撃を与えた『北一輝』の実体に迫ります。

講師：**岡本幸治 塾長**

場所：**ハートピア京都**
(市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅5番出口)

<お問い合わせは事務局へ>(担当：奥井寛之)
日本真生塾事務局(二之湯事務所内) TEL：075-351-2228／FAX：075-315-2310
詳しくはFacebookページをご覧ください。https://www.facebook.com/nipponshinsei
日本真生塾　塾長　**岡本幸治**

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1口1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

身辺雑記

一、配布が遅れていたマイナンバー通知カードが私の手元にもやっと届いた。マスコミが騒ぐほど、混乱はないようである。プライバシーの保護には細心の注意を払わなければならないが、このカードには多くの利点があることを忘れてはならない。

一、大正天皇の4男で、昭和天皇の弟宮の三笠宮様が100才(百寿)の誕生日を迎えられた。昭和の激動の時代を昭和天皇と共にご苦労された。記録上皇族で100才越えられた方は三笠宮様だけという。更に一層の長寿を祈りたい。

一、12月2日にカリフォルニアで銃乱射テロ事件が発生した。男女2人が14人の命を奪った。どうやら犯人はイスラム過激派のようである。移民大国アメリカでの事件は、多くの米国民に不安をもたらしている。

一、東京都庁小包爆弾事件容疑で、裁判員裁判で有罪とされたオウム真理教元信者菊池直子被告に東京高裁は、一審の判決を取り消し、無罪を言い渡した。この判決には納得がいかないという世論が強い。検察が上告したのも当然である。

一、受注確実と思われていたインドネシアでの新幹線。中国がどんな工作をしたのか突如横取りされてしまった。インドでは安倍総理自らがトップセールスをして、受注に成功した。日本の新幹線が世界各国で颯爽と走ることを期待したい。

一、パリでのCOP21で地球温暖化対策について各国が合意し、パリ協定を採択した。産業革命前からの気温上昇を2度以内に抑えることになった。温暖化防止は人類の課題であり、今の世代は美しい地球を後世に継承する責任がある。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい
年間購読料　1200円
郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

新春招福バスツアー
第29回 伊勢神宮初詣

◇旅行日　平成28年1月11日(月・祝)
◇昼食場所　伊勢　千の杜
◇会　費　9,500円

参加ご希望の方は至急お申込み下さい

◇申込先　初詣実行委員会(二之湯智事務所内) TEL(075)315-2228
またはアサカ観光社 TEL(075)821-0650

初詣実行委員会